

## 宗証大師生誕一千二百年慶讃大法要

### 中日庭儀大曼荼羅供・裏千家献茶式参列・参拝

◇実施日；平成26年10月31日(金)；曇り一時小雨

◇参加者；玉岡憲明、山上皓一郎、川島 功 計3名

園城寺(三井寺)とは、天台寺門宗・園城寺第162代長吏・福家俊明猊下が、昭和50年に大峯順峯奥駈修行の際、玉岡さん達が同行・支援、その後の順峯の際には山上さんも同行・支援以来、天台寺門宗奥駈修行の折には支援・接待が引継がれ継続されていることから、知証大師生誕1200年慶讃大法要に招待され参列・参拝した。

知証大師生誕1200年大法会は、10月18日から11月24日まで開催され、その中日の大法要への参列・参拝である。9時半頃に園城寺着、受付が10時からの為、玉岡さんは前長吏・福家俊明猊下の奥様にご挨拶に行かれたが不在であった。大法要は、11時から金堂で行われるため、弁慶のひきづり鐘等の伽藍を散策するが、玉岡さんの疲れを考慮し早めに金堂へ、我々は堂内に案内され着席する。

顔見知りの座間光覚・宗務総長(大法会事務局長)・福家俊彦執事長(大法会奉行)が堂内におられ挨拶する、玉岡前代表が参列されたので、元気な姿に労いと回復を祝福してくださる。

生演奏の奏でる心地良い曲に癒されつつ待つ。

10時半過ぎに園城寺第163代長吏・福家英明猊下の僧列

が入庭し、金堂前の特設舞台で庭儀が執り行われる。



金堂前にて



入庭・庭儀始まる



福家英明猊下入堂

入道場と共に三井晩鐘が打たれ園城寺境内に響きわたる。堂内の着席者は、関係寺院僧侶と裏千家家元関係者で占め、一般招待者は少ないように感じたが、堂外のテント内にも着席された方も多くおられた。

大曼荼羅供は導師及び多くの僧侶による読経が唱えられ、しばらくして裏千家家元による献茶式が厳かに執り行われる。

読経が延々と続き、普段聞きなれない読経が五臓六腑に響き荘厳でありがたい気持ちになる中。参列者が廻し焼香を行う。

座間宗務総長の挨拶に続き、関係寺院並びに武村正義元滋賀県知事の来賓挨拶がある。三井晩鐘が打たれ12時半前に大曼荼羅供法要が終了する。

13時半から大津プリンスホテルで祝宴があり、我々は車で移動する、約200名以上参集し14時前に開宴。

園城寺第163代長吏・福家英明猊下の開会挨拶に続き、天台宗・延暦寺、天台真盛宗・西教寺の宗務総長及び聖護院・宮城泰年門主の来賓挨拶がある。

最澄(伝教大師)を宗祖とする天台宗は、教義により3大門宗の天台宗・比叡山延暦寺・天台寺門宗・園城寺、天台真盛宗・西教寺に分かれ、聖護院は園城寺より分かれた経緯があり、一同に会してめでたく乾杯で開宴となる。

一段落した時点で玉岡さんは、園城寺長吏・福家英明猥下に挨拶するので紹介するからと同行する。

玉岡さんと握手で挨拶され、川島を紹介して頂くと名刺を下さり「体力が衰えて奥駈修行に行けないが、若い者が世話になるので宜しく」と声をかけて下さる。同席の聖護院・宮城泰年門主には、新宮山彦ぐるーぷ40周年記念祝賀会の席上、玉岡さんの長年の功労記念品として、書の揮毫を依頼して快く受けて頂き、中止になったが玉岡宅にお越し頂き贈呈した下さった御礼と元氣になられた玉岡さんに、事の他喜んで頂きました。

玉岡さんは、先刻不在で逢えなかった前長吏の奥様(百歳を越えた)のテーブルで挨拶されている。玉岡・山上さんには、奥駈修行で顔見知りの方がご挨拶に来られている。



福家英明猥下の挨拶



宴席テーブルにて



福家執事長の閉会挨拶

福家俊彦執事長の閉会挨拶で15時半前に閉会となり、宴席見送りの座間宗務総長、福家執事長等に御礼の挨拶をして退室する。尚、座間宗務総長に8/15NHK和歌山放映の園城寺修行空撮と新宮山彦ぐるーぷ活動紹介DVDを手渡す。



前長吏奥様と元氣になられた玉岡さん

ホテルから草津ICを経て、奥伊勢PAで途中休憩し、路面が濡れているが殆んど雨にあわず、無事19時帰新する。

### 行動タイム

新宮 5:50 → 7:05 大紀 IC → 嬉野PA → 土山SA → 9:20 大津 IC  
→ 9:30 園城寺。

受付 10:00 → 10:30 大法要 12:20 → 園城寺 12:40 → 13:10 大津プリンスホテル。 13:50 祝宴 15:20 → ホテル 15:35 → 15:50 草津IC → 奥伊勢PA → 17:20 大紀 IC → 19:00 新宮。

(記 川島)